

都市再生整備計画（宇都宮テクノポリスセンター地区）事後評価の概要

（1）計画概要

【地区名】宇都宮テクノポリスセンター地区
 【面積】177.2ヘクタール
 【交付期間】平成19年度～平成23年度
 【交付対象事業費】約15億円（国費率40%）
 【区域】野高谷町・刈沼町・板戸町・道場宿町・満美穴町の各一部

（2）まちづくりの目標

【大目標】

とちぎ産業創造プラザを中心とした産業交流拠点の形成、計画的な交通ネットワークによる利便性及び安全性の確保、適切な公園配置による住環境の向上及びコミュニティ形成の場の確保、良好な環境の住宅地を主体とした計画的な市街地形成による定住人口の拡大

【小目標】

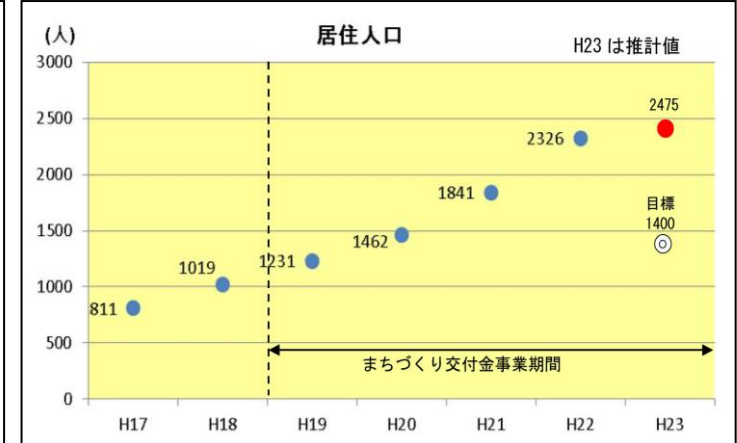
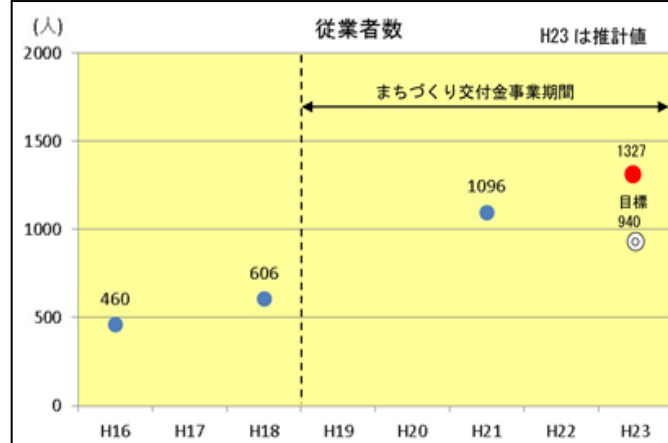
- ・近接する大規模工業団地や計画的に整備される交通ネットワーク等の優位性を活かし、事業所の立地促進を図る
- ・幹線道路及び補助幹線道路を中心とした交通ネットワークにより利便性を向上させる。区画道路の最低幅員を6mに設定し、災害時における延焼防止及び避難路の確保等、安全の確保を図る。
- ・誘致距離を考慮し、適切に公園を配置し、コミュニティ形成の場を確保するとともに住環境の向上を図る。一定距離以内に公園を配置することにより、災害時の防災機能の充実を図る。
- ・良好な居住環境を有する住宅地を主体とした計画的な新市街地の形成により定住人口の拡大を図り、賑わいを図る。

（3）目標の達成状況

| 指標 | 単位 | 従前値 | 目標値 | 事後評価 | 備考 |
|------|---|--------------|----------------|----------------|--------|
| 従業者数 | 人 | 460 (H16) | 940 (H23) | 1,327 (H23) | 増加している |
| 居住人口 | 人 | 811 (H17) | 1,400 (H23) | 2,475 (H23) | 増加している |
| その他 | 土地区画整理事業により、小中学生や通勤者等が安全に歩行できる道路空間が整備されている とちぎ産業プラザや民間の研究施設の立地により、本市の産業を牽引する拠点形成が進んでいる | | | | |

（4）実施課程の評価

【モニタリング】実施なし
 【住民参加プロセス】公園整備計画の策定過程において地元自治会を対象にアンケートを実施
 【持続的なまちづくり体制の構築】公園愛護会の設置に向けた働きかけを行う



（5）まちの課題の変化

地区住民が災害時に一時避難できる近隣公園が整備され、防災機能が向上している。
 土地区画整理事業による道路整備等により、地区内の交通ネットワークが向上している。
 公園整備や道路整備等により、良好な居住環境が整備されるとともに、生活利便施設が立地するなど、快適で利便性の高い居住環境が整備されていることから、更なる居住人口の増加を図る必要がある。
 地区内に「とちぎ産業プラザ」や民間の研究施設が立地するなど、本市の産業を牽引する拠点形成が進んでいることから、引き続き、研究・開発施設等の立地誘導を進める必要がある。

| まちの課題 | まちづくり方策 |
|-----------|---|
| 住民間の交流の促進 | 地区内には、子育て世代を中心とした新たな住民の居住が進んでいることから、自治会の加入促進等により、交流の機会を促進する |
| 居住人口の増加 | 良好な住環境の維持や生活利便施設の立地促進等により、利便性の高い市街地の形成を進めることで、居住人口の増加を図る |
| 施設立地の促進 | 広域交通ネットワーク等の優位性を生かした企業誘致や企業立地促進策の構築等により、研究施設や先端・高度技術産業等の立地を進める |
| 地区の魅力創出 | 地域生活や産業活動等を支える多様な都市機能の集積を更に進めるとともに、地区の特性にふさわしい機能を導入することなどにより、魅力あふれる市街地の形成を進める |